



平成27年11月26日 稲毛すみれ幼稚園

肌を感じる風も日に日に冷たくなり、いよいよ冬がやってきたことを感じます。子どもたちも発表会に向け歌ったり、踊ったり楽しい雰囲気です。天気の良い日は寒さに負けず戸外で遊び、丈夫な体づくりを心掛けたいと思います。

<12月の予定>

日	曜	予 定
2	水	発表会予行(ひよこ・うさぎ・ばら・すみれ)
3	木	発表会予行(ほし・つき)(右記①)
7	月	<年長・中>誕生祈願
9	水	成道会祈願 午前保育
10	木	成道会発表会
11	金	お疲れ休み
14	月	交通安全祈願
16	水	おたきあげ(右記③)
17	木	午前保育(～21日)
18	金	サンタの集い(右記②)
21	月	終業式
22	火	冬休み(～1月7日まで)



12月2日(水)	発表会予行 (午前の部) ひよこ・うさぎ ばら・すみれ
12月3日(木)	発表会予行 (午後の部) ほし・つき
12月9日(水)	成道会祈願(午前保育)
12月10日(木)	成道発表会
12月11日(金)	お疲れ休み

①発表会予行について

各演目の後、集合写真を撮ります。

②サンタの集いについて

子どもたちにとって、ドキドキワクワクするクリスマス！サンタの集いには、特別ゲストがサンタの国からやってきます。なかよしルームのお友だちも招待し、楽しいひとときを過ごします。

母の会からケーキ、サンタさんからプレゼントをもらいます。次のものを持たせてください。

※アレルギーのある方は担任までご相談ください。



コップを用意してください。

③おたきあげ(お守り供養)について

毎月、誕生祈願を行い、お守りをお渡ししてまいりました。一年間お守りいただいたことを感謝し、古いお守りを粗末にしないよう、お経を唱えながらおたきあげいたします。

16日(水)の朝までに、幼稚園事務室前の箱に入れてください。

今回おたきあげするのは、平成26年1月～12月にお渡ししたお守りです。平成27年にお渡ししたお守りは、来年の「おたきあげ」で供養いたします。

誕生祈願のお守りの他、お札等ありましたらお持ちいただいてもかまいませんが、次のことにお気をつけください。

- 大きいものはお避けください。
- ビニール等ははずしてください。
- 人形などはお受けできません。

園からのお知らせ

—補助金について—

補助金は2月頃、指定口座への振込みとなります。

—保育料について—

12月の保育料は12月1日に口座振替となります。

—預かり保育について—

午前保育中の預かり保育は、12/17(木)のみとなります。時間は、17:00までです。

—公開研究会について—

11月に開催した公開研究会に際しまして、ご協力を頂き本当にありがとうございました。公開研で学んだ事を今後の保育に生かしていきたいと思っております。



◎ 書き損じ葉書き、年賀状がありましたら、事務室へお持ちください。

◎ オーバー、ジャンパーの季節です。記名をし、かけひもをつけてきてください。また、自分で脱ぎ着できるようにしましょう！！

◎ 部屋では、天候や気温を考慮して暖房や換気をしています。徐々に寒さに慣れるよう、元気な時は、薄着の習慣をつけましょう。「寒いときに寒いこと」を経験することが自律神経を鍛えることになり、健康づくり、風邪の予防になります。

<今月のおはなし>

にんにくじきゅう

忍辱持久

教えを知り、努め励もう

忍辱とは耐え忍ぶこと、持久とはそれを長い時間持ちこたえること。

自分らしさの出せる子、自分のしたい事を思い切って出来る子を育てることはとても大切なことです。しかし、一方で自分の気持ちを抑えることが出来る力を育てることも大切なことです。自分で自分をコントロール出来た時、はじめて「自分」というものが確立するのです。

インフルエンザ・ノロウイルス予防について

インフルエンザ・ノロウイルスが流行する季節となりました。空気が乾燥してくるとやすくなります。

予防はうがい手洗いです。うがいはのどの粘膜を湿らせ、ウイルスを流す効果があります。手洗いは園だより7月号でもお知らせした洗い方が効果的！水分補給も忘れずに！

- ・毎日検温をしてください。
- ・熱や嘔吐などの症状がある場合は連絡いたしますので、必ず連絡が取れるようにしてください。



いよいよ発表会を迎えます。2学期をしめくくる大きな行事です。

何でもやればできるということ。頑張って拍手をいっぱいもらった喜びと、やったという達成感。運動会とこの発表会という2大行事の経験は子どもたちに大きな自信を与えます。また友だちと力をあわせて演技をすることの楽しさなど普段の保育では経験できないことがたくさんあります。ビデオやカメラで子どもの記録を残すことも大切ですが、温かい拍手応援で舞台を盛り上げてあげてください。それが子どもたちにとって何よりの励みと自信になります。カメラより心の記憶にぜひ残して、ご家庭で楽しい思い出を語り合ってください。